

## 相馬双葉漁協の試験操業魚種拡大について

平成24年6月から相双漁協において、ミズダコ、ヤナギダコ、シライトマキバイに限定した試験操業を行ってきましたが、全ての魚介類から放射性セシウムは検出されず県内外の消費者の皆様から良好な評価を受けました。

そこで本県漁業の復興を目指し、緊急時モニタリング検査結果において安全性が確認されている（平成24年1月より放射性セシウムが不検出）7魚種を選定し、8月22日の福島県地域漁業復興協議会にて漁業者・行政・研究者・流通関係者で協議した結果、妥当との評価を頂きましたので、8月28日の第5回漁協組合長会にて承認決定されました。

今後も水揚げ毎に放射性物質検査を行い、安全性を確認しつつ消費者の皆様のご信頼に応えて参ります。

### 試験操業対象魚種

- ・ケガニ ・スルメイカ ・チヂミエゾボラ ・エゾボラモドキ
- ・ナガバイ・ヤリイカ ・キチジ ・ヤナギダコ（継続）
- ・ミズダコ（継続） ・シライトマキバイ（継続）

上記魚種のモニタリング検査結果（平成24年1月～9月）

<http://wwwcms.pref.fukushima.jp/download/1/siken10-02.pdf>

（福島県水産試験場HP）

魚種別のグラフ

<http://wwwcms.pref.fukushima.jp/download/1/siken10.pdf>

（福島県水産試験場HP）